



議会だより

ひだか川

63

No.

令和4年2月1日発行

発行／日高川町議会

住所 和歌山県日高郡日高川町土生160番地

TEL. 0738-22-9504

FAX. 0738-22-2093

E-mail : gikai@town.hidakagawa.lg.jp



日高川交流センター

第2回臨時会

第4回定例会

- こんな質疑を行いました 2
- 一般質問（8名登壇） 6
- 常任委員会の活動 14

こんな質疑を行いました



11月29日に第2回臨時会が開かれ、提出のあった条例の一部改正2件をすべて原案のとおり可決しました。

また、冒頭に久留米町長が「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、地球温暖化問題への積極的な取り組みを通じ、防災・減災など災害に強いまちづくりをめざす決意を表明しました。

12月10日から12月16日まで第4回定例会が開かれ、提出のあった専決処分1件、町道路線の変更1件、条例の一部改正2件、補正予算8件をすべて原案のとおり可決しました。

決算特別委員会で継続審査となっていた「令和2年度歳入歳出決算認定」議案については、賛成多数で認定しました。

一般質問は、8議員が行い、町執行部の取り組み等を問いました。

第2回臨時会

●職員給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴い、条例の一部を改正するものです。

改正内容は、民間企業との給与格差を調整するため、職員の期末手当の支給月数を0・15月分引き下げるものです。（賛成9名）

問 引き下げによる影響はどのように表れるのか。

答 育児休業中の7人を除く155人が対象で、平均1人当たり5万3千円減の試算となっている。

●議員報酬等に関する条例の一部改正

前条例と同様に、議会議員の期末手当についても、期末手当の支給月数を0・15月分引き下げるものです。（賛成8名）

第4回定例会

●令和3年度一般会計補正予算（第4号・専決処分）

歳入歳出予算にそれぞれ7240万円を増額し、予算総額90億1745万4千円とするものです。

内容は、子育て世帯への臨時特別給付金において、1人につき5万円を年内に支給するため、システム改修等の早急な準備が必要となったことにより計上するものです。（賛成全員）

問 子育て世帯への臨時特別給付金の支給方式が3つあり、現金で10万円一括、現金年内5万円と年明け5万円、現金年内5万円とクーポン5万円分、どれを選択してもよいとのことだがどうするか。

答 町としては、10

万円を一括で支給したい。追加する議案で残り5万円の補正予算を審議してもらう。

問 支給対象は1420人であるが、所得制限960万円を超え、支給対象とならない方は何人か。

答 対象とならない世帯は17世帯、子ども的人数で26人となる。

●町道路線の変更について

町道の改良に伴い三



町道路線変更

百瀬広場西回り線において、起点の変更や終点の地番変更等を行うとともに、従来の三百瀬広場西回り線の一部区間を新たに町道三百瀬広場3号線とするものです。（賛成全員）

問 三百瀬広場の横に周回する道路は必要なのか。

答 旧の町道であり、廃止せず重複して認定し、今後も町道として利用したい。

●国民健康保険税条例の一部改正

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法令の整備等に関する政令の公布により、所要の改正を行うものです。

改正内容は、未就学児の被保険者に係る均等割額について、その5割を公費により軽減するものです。

(賛成全員)

●国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令等の一部改正により、所要の改正を行うものです。

改正内容は、産科医療補償制度の掛け金見直しを踏まえ、出産育児一時金等の支給額を40万4千円から40万8千円とし、支給総額42万円を維持するもので

す。
(賛成全員)

●一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算にそれぞれ2億850万7千円を増額し、予算総額92億2596万1千円とするものです。

主な内容は、人事院

勧告に伴う人件費の調整、かわべテニス公園周辺整備による自家発電設置費、ジャバラ栽培に係る農業所得向上対策支援事業補助金、宿泊施設等指定管理への委託費、豪雨災害に係る林道施設災害復旧工事費、防災対策基金の積立等を計上したものです。
(賛成9名)

問 選挙の投票所が減っている。移動投票所などを設置できないのか。

答 移動投票車の導入を検討したが、車の改造、他への使い勝手が良くないなど、検討

段階で終わっている。

地域の集会所での期日前投票も検討している。

町長、町会議員の選挙だと期間が短いので、広域な町で同じ環境を整えるのは難しい。検討を重ね、投票の環境改善に取り組む。

問 ジャバラの栽培計画、組織と販売流通はどうなるのか。

答 栽培組織は、8人で研究会を組織している。

問 ジャバラ支援事業における補助内容はどうなるのか。

答 耕作放棄地対策の一つとしてジャバラの苗の植栽を支援するもので、苗木代、土壌改良剤、肥料、保水剤等に対する補助を考えている。

問 田辺市龍神村では翔龍祭を開催している。

答 フォレスト祭を開催する方策として、リモートで林業の実情を知る講演会などはやれなかったのか。

答 6月にフォレスト祭実行委員会を開いた。前向きな意見もあったが、自粛という意見が多数だった。来年も計画し、やれる方法を議論したい。

問 土地売払い収入は、川原河地域の河川改修に伴う町有地売払いということだが、具体的に説明を。

答 水道施設用地河川側の一部を県に売却した。

問 護岸工事に用するた

めだ。

問 12歳到達者の1、2回目のコロナワクチン接種の実施時期はいつからか。

答 さらに毎月1回、ひだか病院で実施している。

問 5歳から11歳の

1、2回目接種は検討中となっているが、見通しはどうか。

答 国から具体的な連絡は来ていない。

問 12歳から17歳の3回目接種は検討しているのか。

答 国から特に連絡はない。

問 12歳から若年層の接種と副反応のデータは収集しているのか。

答 11月末現在、12歳の1回目接種が31・6%、2回目が20・3%。13歳から15歳の1回目が76・8%、2回目が75・6%。16

歳から18歳の1回目

が88・2%、2回目

が85・6%だ。

本町では、副反応等を県、国へ報告した事例はない。

問 学校給食配送車2台を冷蔵車に買換えるが、その理由と現行の保冷車の使い方はどうするのか。

答 配送車は4台あるが、今回丹生地区と美山地区で使っている車を冷蔵設備がついたものに買い換える。

夏場の気温が高くなって保冷庫内の温度が相当上がる。氷や扇



給食配送車

風機などを使って温度を調節しているが、配送が大変な状況になっている。

保冷車2台は車検が残り1年あるので、キャンペーンやボランティア、イベント等に使いたい。

問 南山スポーツ公園のネットワーク整備に係る事務所改修を機に、グラウンド等の使用許可事務の一元化を図れないものか。

答 今回の改修箇所は、陸上競技場を見渡せる事務所部分である職員向けのネット

ワーク設備の整備であるが、スポーツ施設の窓口一元化については今後検討を加えていきたい。

問 かわべテニス公園自家発電設置での供給範囲はどこまでか。

答 テニスコートの上屋施設とレストラン、宿泊棟と研修所をカバーする。

問 3回目のコロナワクチン接種においてファイザー製を優先して使えるようにできないのか。

答 基本的にファイザー製かモデルナ製で



南山スポーツ公園管理事務所

有効期限の近いものから使用するが、強要するものではなく、接種される方の希望に沿う形で日程調整をしたい。

問 防災対策基金へ1億円を積立てる目的は。

答 防災行政無線設備の更新も今後考えなくてはいけない。必要となる時に備え、昨年度の繰越金の一部を防災対策基金に積み立てるものだ。

●国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算からそれぞれ67万5千円を減額し、予算総額14億6362万円とするものです。

内容は、国民健康保険診療所特別会計への操出金において減額するものです。
（賛成全員）

●国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算からそれぞれ50万9千円を減額し、予算総額9922万円とするものです。

内容は、人事院勧告による人件費の調整をするものです。
（賛成9名）

●国民健康保険事業寒川診療所特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算からそれぞれ16万6千円を減額し、予算総額5817万2千円とするものです。

内容は、人事院勧告による人件費の調整をするものです。
（賛成9名）

●下水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算からそれぞれ34万3千円を減額し、予算総額3億4

525万8千円とするものです。

内容は、人事院勧告による人件費の調整をするものです。
（賛成9名）

●寒川財産区特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算にそれぞれ37万7千円を増額し、予算総額97万7千円とするものです。

内容は、林道樫木線開設に伴う支障木の補償代金を基金に積み立てるものです。
（賛成全員）

●水道事業特別会計補正予算（第2号）

人事院勧告による人件費の調整として、25万円の減額を行うものです。
（賛成9名）

●一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出予算にそれぞれ7100万円を増

額し、予算総額92億9696万1千円とするものです。

内容は、子育て世帯への臨時特別給付金において、1人につき一括して10万円支給が可能になったことから、残り1人5万円を年内に支給するため、計上するものです。
（賛成全員）

問 子育て世帯への臨時特別給付金を12月24日に支給するが、事務に支障はないのか。

答 12月24日に振込を行う専決をしている。申請の必要な方は抽出し、申請案内等を発送している。

通知を出している家庭へ当初5万円だったものを10万円支給するという案内を発送する。

問 事務的な経費は問題ないのか。

答 専決をした事務費の中で、一括支給となった分も対応できる。

第2回臨時会・第4回定例会 審議議案と議員の賛否

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

上程議案		結果	1 熊谷 重美	2 原 孝文	3 山本 喜平	4 吉本 賢次	5 入口 誠	6 山本 啓司	7 龍田 安廣	8 伊奈 禎胤	9 堀 辰雄	10 小畑 貞夫	11 堀江 才二	12 井藤 満人
※全賛…全員賛成で同意・承認・可決・認定・採択 賛多…賛成多数で同意・承認・可決・認定・採択 賛少…賛成少数で不同意・不承認・否決・不認定・不採択														
第2回臨時会	条例の改正・制定													
	日高川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	賛多	○	×	×	○	○			○	○	○	○	○
	日高川町の議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	賛多	○	×	×	×	○			○	○	○	○	○
第4回定例会	条例の改正・制定													
	日高川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	日高川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	専決処分・補正予算													
	専決処分の承認を求める件について (令和3年度 日高川町一般会計補正予算(第4号))	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和3年度日高川町一般会計補正予算(第5号)	賛多	○	×	×	○	○			○	○	○	○	○
	令和3年度日高川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和3年度日高川町国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算(第3号)	賛多	○	×	×	○	○			○	○	○	○	○
	令和3年度日高川町国民健康保険事業寒川診療所特別会計補正予算(第1号)	賛多	○	×	×	○	○			○	○	○	○	○
	令和3年度日高川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	賛多	○	×	×	○	○			○	○	○	○	○
	令和3年度日高川町寒川財産区特別会計補正予算(第1号)	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和3年度日高川町水道事業会計補正予算(第2号)	賛多	○	×	×	○	○			○	○	○	○	○
	令和3年度日高川町一般会計補正予算(第6号)	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	その他													
	町道路線の変更について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	決算													
	令和2年度 日高川町一般会計歳入歳出決算の認定について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町笠松農業用水及び公共用水管理運営特別会計歳入歳出決算の認定について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛多	○	×	×	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町国民健康保険事業川上診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町国民健康保険事業寒川診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	賛多	○	×	×	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛多	○	×	×	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町川上財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町寒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	令和2年度 日高川町水道事業会計決算の認定について	全賛	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○

(注)議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長採決」として表明。

町政の 今を問う!

一般質問



8 議員が 18 項目の質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
7～8	原 孝文 議員	・地域包括ケアにおける和佐の里「サテライト千寿」の役割 ・「ゼロカーボンシティ宣言」にふさわしい町の施策展開を ・移住定住の状況と支援の強化を
8	堀 辰雄 議員	・「日高川町ゼロカーボンシティ宣言」について ・ソーラー発電事業について、町が積極的に取り組むべきではないか ・町施設の定期点検をすべきではないか
9～10	山本喜平 議員	・国保税の子どもの均等割減免を高校生まで ・J A 紀州の組織再編で町の農業と地域の活性化は ・盛土箇所安全対策について
10	龍田安廣 議員	・県道御坊美山線の3カ所の交差点のうち1カ所でも信号機は付かないのか
10～11	入口 誠 議員	・新型コロナ後の観光について ・ふるさと納税の推進について ・小・中学校の統廃合は
11～12	井藤満人 議員	・火災の発生からどのような教訓を得たのか
12	熊谷重美 議員	・上水道配水管の維持管理と今後の計画について
12～13	小畑貞夫 議員	・J A 紀州の組織再編は不便極まりない ・防災訓練の実施が進まない ・「ゼロカーボンシティ宣言」がもたらす町民へのメリットは

定例会・臨時会について

議会では、町の予算や条例などの重要なことがらを審議し、決定します。
招集される議会には、定例会と臨時会があります。

◎定例会

定期的に招集される議会。議会を招集するのは町長の権限で、年に3月、6月、9月、12月の計4回開かれます。

◎臨時会

必要があるとき、特定の案件を審議するために招集される議会。必要があれば回数に制限なく、開くことができます。

1

地域包括ケアにおける 和佐の里「サテライト 千寿」の役割

課題は少し残っているが、
福祉避難所機能もある



原 孝文 議員

問 民間医療法人に
土生地内の町有地を貸
出し、本町の地域包括
ケアシステムの中心と
すべく、建設を進めて
いた介護老人保健施設
が完成し、令和4年3
月から稼働する。

和佐地内にある同法
人の施設の事業の一部
をここに移すとのこと
だが、町から法人に要
望していた事業が予定
どおり実施できる見込
みとなっているのか。
また、要望どおりに
なっていない点がある

ならば、今後どのよう
に改善していくのか。

答 高齢者が住み慣
れた地域で、住まい、
医療、介護、生活支援、
介護予防が一体的に提
供されるような事業運
営をお願いしている。

その中で、訪問リハ
ビリサービスが、人員
確保の都合で開所当初
からの実施が困難と聞
いている。また、サロ
ンのスペースは設けて
いるものの、地域の方
々がどう気軽に利用で
きるものにするかも今
後の課題だ。

この施設は、医療的
な支援が必要な方の福
祉避難所としての活用
も申し出てくれている。
災害時の活用は、御坊

市とも協議が必要と考
えている。

2

「ゼロカーボンシティ 宣言」にふさわしい町 の施策展開を

必要な策を新年度予算に
反映したい

問

町の姿勢として

評価するが、町民はじ
め社会全体へアピール
していくには、実行性
を伴うものでなくては
ならないと思う。ゼロ
カーボンを推進するこ
とを町民へ周知してい
くには、具体的にどう
いうことかを理解して

もらうことが必要であ
り、そのためには、町
としてこんなことをし
ていますということが
いるのではないかと。

燃油の高騰が続いて
いる折でもあり、既に
制度化しているLED
化への補助に加えて、
家庭用の太陽光発電、
農業用のヒートポンプ、
小型水力発電の導入支
援など、町の施策とし
て創設していくべきで
はないか。

答 地球規模の課題
だが、町民一人一人が
意識して取り組んでい
ただくことの積み重ね
が大事だ。

家庭や学校、職場で
の節電や節水、ごみの
減量化、森林体験など、
身近な小さな実践を紹
介し、アピールしてい
きたい。

町としての施策の創
設は、全国の宣言自治
体と情報を共有しなが
ら、これからの町に必

要な策は何かを検討し、
新年度予算に反映して
いきたい。

3

移住定住の状況 と支援の強化を

空き家登録の推進や支援
体制充実に努める



定住された5年目のご夫婦

問

全国的にも大多
数の自治体が移住定住
に力を入れており、本
町の特徴がどのように
評価され、支援策にど
のように生かされてい
るのか現状の分析を聞
く。

関係している方々は
よく頑張っていると思
う。しかし、依然とし
て町の人口が減少して
いるもとで、現状の策
でこのままやっていく
のか町の姿勢が問われ
てくるものと思われる。
町全般の様々な制度

1 「日高川町ゼロカーボン シティ宣言」について 率先して推進していく



堀 辰雄 議員

や事業が移住希望者に
どう映っているのか再
度点検し、改善や充実
をしていく必要がある
のではないかと。また、
ワンストップパーソン
や受入協議会などの支
援員制度の体制を強化
していくべきではない
か。

【答】 人口維持は公約
の一つであり、新築住
宅取得支援など様々な
策を打っている。この
5年間で85名の移住者
を受け入れた。

本町は京阪神からの
アクセスも良く、空き
家バンクの登録数也多
く、ニーズが高い。し
かし、もっと登録数を
増やすことが必要で、
区長はじめ地域の方々
に協力をお願いしよう
と考えている。

また、支援のための
組織体制の充実に努め、
情報サイトも見やすい
ように改善したい。

【問】 町長は、ゼロカー
ボンシティを宣言した
が、具体的にはどの様な
プランを持っているのか。

【答】 具体的な取り組
みについては、宣言書の中
にも記載していると
おり、ゼロカーボン実現
のための取り組みとし
て、災害に強い町づく
り、森林保全、ごみの減
量化、環境教育、蓄電
池システムなどの新しい
エネルギー技術の普及
促進を見本として、環
境省や全国のゼロカー
ボンシティ宣言を表明
している自治体と情報
を共有しながら、これ

からの日高川町に必要
な施策は何かをじっくり
検討し、新年度の予
算に反映していきたい。

2 ソーラー発電事業につ いて、町が積極的 に取り組むべきではないか 個人の土地を借り上げてま での事業は考えていない

維持管理費用として住
民に還元してはどうか。
【答】 再生可能エネル
ギーとしての太陽光発
電は今後ますます着目
されていくと思うが、
電力会社への売電から
自家消費としての発電
に移行していくのでは
ないかと思われる。二
酸化炭素の削減、防災
面などを考えれば、町
有施設への設置は町と
して考えられるが、個
人の土地を借り上げて
のソーラー発電事業は
考えていない。

【問】 町施設を初期の
うちに定期検査をする
ことによって、不具合
を早く発見し、その分
修繕費も安くなり、安
心感も増すのではない
か。

予算計上した中で、定
期的に検査を行い、改
善が必要とされる箇所
の把握と早期対応に努
めている。
公共施設総合管理計
画を策定しており、壊
れてから修繕する対処
療法的な維持管理では
なく、定期的な点検診
断により、施設の劣化、
不具合が発生する前に
対応することを目的と
した予防保全に転換す
ることで、施設の長寿
命化、維持経費の縮減
などをめざしている。



ソーラー発電

3 町施設の定期点検を すべきではないか 早期対策に努める



1

国保税の子どもの均等
割減免を高校生まで町独自で高校生まで軽減する
ことはどうかなと思う

山本 喜平 議員

問 国は令和4年度

から子育て世帯の経済的負担を軽減するために、国保税の未就学児の均等割を5割軽減することとした。

①国に対し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、高校生まで均等割を減免することを求めるべきではないか。

②町として、医療費の無料化を高校生まで実施している。子育て支援を充実させるために、国保税均等割を高校生まで軽減する考えはな

いのか。

答 ①今回のように

国、県と一体となつて対象を広げることが良いことだ。国に対する要望はしていきたい。

②国、地方の取り組みとして、国保制度の全世帯の未就学児に係る均等割額について、5割を公費で軽減することが制度化されたのは、一歩進んだところだ。

また、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、運営の統一的な方針を策定している等を勘案すると、町独自で高校生までの均等割を軽減することは、現在のところどうかなあと思っている。

2

JA紀州の組織再編
で町の農業と地域の
活性化は

町内の農業や地域に悪影響が出ないように要望したい

問

JA紀州は、令和4年10月を目処とした組織再編を示している。

・金融取扱店舗の再編として、本町では日高川支店に統合され、中津出張所を置く。

・ATMの再編では、寒川事業所のATMは撤収される。

・経済事業の購買、販売事業は合理化され、寒川事業所では廃止。中津と美山では日数と

時間が減少する。

・農機はグリーンセンターに移転される等。

①特に高齢化が高い地域の事業縮小が著しい。

農家、組合員と地域

住民の利便性を悪化させ、JA離れを招くことになるのではないか。

②町の指定金融機関であるJA紀州の組織再編について、意見を出すべきではないのか。

答 ①既設の事業所

がなくなり、支店での購買時間も短縮される。農家や組合員、また地域住民にとって不便になるのは事実だ。

②町としても、公金収納について支障を来すことがないよう、随時意見を述べているが、町内の農業や地域に悪影響が出ないよう要望したい。

3

盛土箇所
の安全対策
について抽出された盛土箇所は、
定期的に点検を行う

問 令和3年7月に

静岡県熱海市で発生した大規模土石流の被害を受けて、和歌山県は県内の盛土箇所5834カ所の総点検を実施した。土砂災害警戒区域の中から最優先すべき現地点検箇所として、本町では12カ所があった。そのうち

寒川の盛土箇所は、今

後大雨に伴い被害の恐れがあり、早急に対策が必要な箇所として特定された。

①特定された寒川地内の盛土箇所の対策は進んでいるのか。

②現地点検された箇所の防災対策などは必要ないのか。



寒川地内の盛土



【答】

①和歌山県より、河川内に堆積している土砂を撤去するよう指導があった。12月中に撤去を完了する見込みだ。

防災対策は必須で、できれば令和4年の梅雨時期までには工事を完了させたい。

②残りの11カ所についても、県職員による点検を終えており、防災対策は特に必要がないと伺っている。

しかし、今後も抽出された12カ所について、定期的に点検を行いたい。

1

県道御坊美山線の3カ所の交差点のうち1カ所でも信号機は付かないのか 信号機の設置はハードルが高い



龍田 安廣 議員

少しでも減らす対策はないのかと警察や県と協議し、より認識しやすい表示板に改善するなど努めてきた。

警察庁より示されている信号機設置の指針では、交通量、交通事故の発生状況、交差点の形状を調査分析し、他の方法により対策で

きない場合かどうかを考慮し、設置されるようになっていて、信号機の設置はハードルが高い。設置する要望については、地元の皆さんの意向を聞きながら進めていく。

危険な箇所であるので路面の「止まれ」表示の改善他、新たに事故多発注意などの注意喚起看板の設置、交差する町道の路面をカラー舗装化するなど対策を検討していく。



川辺大橋橋詰めの県道交差点

1

新型コロナ後の観光について 町が保有する観光資源を磨き上げて提供していく



入口 誠 議員

【問】本町の今後の観光は、今あるものを有効に活用し提供する体験型であると町長は言われているが具体的に伺う。

生産者や地元の方が潤うような体験型観光を進めてほしいと考えるかどうか。

また、案内人であるインストラクターを養成し、付加価値をつける体験型観光はどうか。
【答】町が保有する観光資源を磨き上げて提供していくことが重要である。

例えば、鳴滝キャンプ場や猪谷川水辺公園などのキャンプ施設をリニューアルし、若者や家族層にアピールしたり、リフレッシュエリアみやまの里の藤の花が咲いていない時期を活用する新たな観光メニューの開発、そして、日本一の生産量を誇る紀州備長炭の窯出し体験などのメニュー化や日本一楽しいヤッホーポイントでのイベントなど、今ある資源を生かした観光を考えている。

体験型観光では、地元や生産者が潤う観光システムをつくってきたい。

インストラクターの養成については非常に

大事な部分である。どういう形にしていくなのか、担当課で考えていく。

2 ふるさと納税の推進について

寄付額の増額に取り組んでいく

問 本町にふるさと納税がされればその約4割が自主財源となる。町独自の事業が可能となる魅力的な制度である。本年度の納税見込み額を聞く。

他の自治体では1億円を超える納税額を挙げているところがある。本町でも他の自治体との連携を深め、担当者を増やしたり、民間の

力を借りた協議会を立ち上げる考えはないのか。

本町独自の魅力ある商品を増やす方法や出品希望者に対してのバックアップはどうなっているのか。

答 昨年度実績が3122万1千円であり、本年度もほぼ同額のペースで寄付を頂いている。

昨年度から共通返礼品の取扱いを開始し、



日高川漁協のふるさと納税返礼品

ポータルサイトを増やすなど、近隣市町との情報を共有しながら寄付額の増額に取り組んでいるところである。担当者を増やしたり、協議会の立ち上げは考えていきたい。

今後、寄付額を増やすために生産者の協力を得ながら、出品しやすい環境づくりに努め、返礼品数や在庫数を増やしていきたい。

3 小・中学校の統廃合は検討委員会において検討していく

問 学校の統合については「日高川町立小・中学校の適正配置に関する検討委員会」で話し合いが行われている。進捗状況とその内容、町民アンケートについて伺う。

令和4年の3月までには学校統廃合についての方針を決めていくようであるが考えを聞く。

答 既に行われた保護者アンケートでの学校統合に肯定的な回答は、小学校で約7割、中学校で約6割強であった。

町民アンケートについては、町民1千人を対象に11月末日で締切り、現在集計作業を行っている。回収率は57.2%である。

第1回「日高川町立

小・中学校の適正配置に関する検討委員会」を11月5日に開催し、これまでの経緯と今後の開催計画や協議内容と保護者アンケートの結果について説明をした。会議では、子どもを主体として考えるべきであるという共通認識の下、教職員と児童・生徒にもアンケート調査を行う必要があると判断し、年明けに実施することを決定している。第2回検討委員会は12月22日に開催予定である。

統廃合に関しては、地域や学校の実情等により課題や考えも異なることから、それぞれのアンケート結果を参考にしながら検討委員会で協議を進めていく。

1 火災の発生からどのような教訓を得たのか

消防力の低い地域の解消に努力する



井藤 満人 議員

問 令和3年10月に発生した千津川市内の住宅等の火災について、町としてどのような教訓を得たのか。総括はどのようにされたのか。今回の消火活動に出動された町消防団からの報告はどのような内容であるのか。また、町に対する対策、要望は出されているのか。



消火栓とホース等の格納箱

消火栓、防火設備について不十分となっている地域はあるのか。あるとすればどのような計画検討し予算化するのか。

町内各区から火災に対応する設備品等の配備要望は出ているのか。

【答】 消防隊員が現場に到着し、放水が開始されるまで21分の時間を要した。消火栓などの消防水利の悪さと被災した建物までの進路が狭く、消防車両の進

入ができず消火活動が困難となった。消防力の低い地域をいかに解消すべきか再認識した。千津川の消防団や区から消火栓の増設やホースの追加配備の要望を受けている。

消火栓の位置や道路状況の情報を収集し、不十分な地域等に計画的に対応していく。消火栓などの情報を地区マップに落とし情報の共有化を図る。

1 上水道配水管の維持管理と今後の計画について

管路の状況を鑑みながら適切な補修や更新に取り組む



熊谷 重美 議員

【問】 和佐地内で配水管の漏水があった。

原因は老朽化と線路脇であることから電解腐食が考えられるとのことであるが、漏水部の修復だけではなく、周辺の管の取り替えも必要と思うがどうか。

配水管の法定耐用年数は40年である。40年を経過している町内44kmの配水管を、今後どうするのか。順次取り替えていく計画はあるのか。

和歌山市内で水管橋



道路橋に添架された配水管

崩落の事故があった。本町には独立した水管橋はないが、配水管が道路橋に添架されている箇所が153カ所ある。道路橋、配水管の定期点検はしているのか。

【答】 和佐地内の漏水箇所周辺については、管の種類や埋設状況が同じなので、今後補助事業を活用し更新計画を立てる。40年経過の管については、災害に強い町づくりを進める観点から更新、耐震化は不可欠だ。今後有利な補助事業の財源を確保し、利用者にできるだけ負担のかからないよう、適切な補修や更新に取り組む。

道路橋に添架された配水管については、定期的な点検を実施する。万が一災害で橋梁崩落があっても、広域的な断水を解消できるように計画を立てていく。

1

JA紀州の組織再編は不便極まりない

総会で決議されている以上、再編の方向性は変わらない



小畑 貞夫 議員

【問】 令和3年6月にJA紀州通常総会において組織の再編が決議された。

美山支店は統合され中津出張所になる。寒川事業所は廃止される。農協に年金口座を開設している人もいる。高



JA寒川事業所

高齢者は、窓口を利用している人も多い。ATMも30カ所を19カ所に減らす。美山地区では、美山支店のみになり、寒川地域ではJAでのお金の出し入れはできなくなる。誠に不便極まりない。

特に寒川地区の皆さんは生活に必要なお金の出し入れまでも不便になる。しかし、総会で決議されている以上、再編の方向性は変わらない。

JAが町の指定金融機関であることから、公金収納に支障のないように協議を行う。何より今回の再編で農業振興を後退させることのないように要望する。

2 防災訓練の実施が進まない

令和4年こそは総合防災訓練を実施したい

問 コロナ禍という

事情があるにせよ、防災訓練の実施が進まない。自主防災組織の活動も進んでいない。職員の避難所運営能力は高まっているのか。訓練環境が整わないのは何故なのか。

防災センターができて出張防災なども頻繁に行われているように感じられない。安心安全・防災が本町の最上位の課題であるのではないか。

答 令和3年は紀伊半島大水害から10年であることから、各団体に訓練依頼を積極的に

行った。その結果、現時点で28団体が防災機材点検などの訓練を実施した。令和4年こそは総合防災訓練を実施したいと考えている。

避難所運営についても担当課職員のみで行っていたのを全職員による班体制に変更した。特に若い職員の防災意識改革を図りたい。

出張防災については、各種団体等への働きかけを強化する。今後も、自主防災組織と連携して新年度以降の訓練実施に向けて推進していく。



3 「ゼロカーボンシティ宣言」がもたらす町民へのメリットは

町民だけがメリットがあるという事ではない

問 宣言を行うこと

で、町に及ぼす効果はどのようなものか。そもそも、宣言が町民に理解されて実行意識を持つことが宣言の意味ではないのか。

宣言と同時に未来志向のゼロカーボンシティ計画を作成しているのか。宣言が町民へのメリットをもたらすものでないなら宣言の意味があるのか。

今後、町はどういった施策を打ち出すのか。新年度予算には反映させるのか。

答 宣言が町民に理解されて実行意識を持つことが重要である。

計画については、本町では地球温暖化対策

の推進に関する法律に基づく計画を策定している。この計画をゼロカーボンシティ宣言の内容と整合させ、計画の見直しを行いたい。

CO2の問題は国全体の問題で、この宣言で町民だけがメリットがあるという事ではなく、将来的に豊かな自然を町に残せることがメリットと考える。

本町の宣言内容を基本として、環境省や他の自治体と情報共有しながら、本町に必要な施策を考え新年度以降の予算に反映したい。



委員会町内視察レポート

産建厚生常任委員会

1. 視察の概要

(1) 実施日

令和3年11月16日(火)

(2) 調査目的

①令和4年開所予定の介護老人保健施設和佐の里「サテライト千寿」を視察し、施設の概要や事業計画について調査を行う。

②令和3年末に近畿自動車道紀勢線有田～印南間の4車線化工事の完成と川辺ICのフルインター化に伴い、工事経過と今後の交通量の見込み、完成による効果等について調査を行う。

(3) 調査の経過

①和佐の里職員より資料提示と概要説明を受け、施設内を視察。

②ネクスコ西日本日高

川御坊工事長より資料提示と概要説明を受け、川辺IC周辺を視察。

(4) 調査の結果と意見
○和佐の里「サテライト千寿」

現在和佐地内にある「和佐の里」は、住宅地域から距離をおいた閑静な小高い場所に建てられているが、今回サテライト(支所等本体から離れて存在するもの)として、土生地内にある薬草試験場跡に建てられた。

介護老人保健施設和佐の里「サテライト千寿」は、介護を必要とする高齢者が在宅復帰をめざすための施設で、理念は、住み慣れた地域でいつまでも在宅生活を送れるよう精



和佐の里「サテライト千寿」

神的・身体的・社会的支援を行い、地域に貢献するとしている。

入所条件は、原則として要介護1～5で年齢が65歳以上の高齢者だが、一定の条件を満たすと例外として65歳未満の方でも入所することが可能になる。

また、要支援の方に

はできないが、短期入所や通所・訪問リハビリテーションの支援サービスを受けることができる。

部屋を25床、通所サービス(定員60名)をこの施設に移動し、令和4年3月開所予定である。

また、介護サービス利用にあたっての相談

を受ける在宅介護支援センター川辺と往診のみの在宅支援診療所も併設している。

「和佐の里」とは違い、住宅地域に近くて立地条件が良く、通所リハビリテーションが利用しやすい環境で、地域住民が足を運びやすい交流の場、また、災害時の避難所として受け入れるとのことである。

ただ、この施設を運営する社会福祉法人黎明会は民間法人であり、町外の方の利用も想定されることから、本町住民の優先利用などの協議ができないかと考える。

今後は、矢田地域の地域包括ケアシステムの施設として、地域と密着した住民サービスと住み慣れた地域での自立した生活を継続するため役立ってくれるものと期待する。



川辺IC周辺を視察する委員

○4車線化工事・川辺ICフルインター化

中津川地内にある清水建設（株）日高川工事作業所で説明を受け、その後は川辺ICと4車線化となった現場を視察した。

現在の工事状況は、中央分離帯の撤去、路面標示の消去工事、トンネル照明や非常用設

備の更新等を行っている。

渋滞状況については、平成23年の海南・有田間の4車線化完成により、渋滞区間が南に移動し、有田・田辺区間の渋滞が増加した。特に、休日の観光地への往来による渋滞が年間を通じて頻繁に発生するようになった。

今回の有田・印南間4車線化の完成により、渋滞が大幅に軽減されることから旅行時間の短縮が図られることや、災害発生時の代替路、救急医療施設への搬送時間短縮等の効果が期待される。

大災害時には、本線から小熊地内の町防災センターへ出入りできる緊急開口部（非常用ゲート）が南向き方面に設置されている。

また、川辺ICのフルインター化については、形状はほぼ完成している。

今後は、生活の利便性はもちろん、観光への期待が高まる。周辺のインフラ整備がまだまだ必要であるが、宅地造成の増加も見込まれ、これを機に人口減の歯止めになることが期待できる。そのため

の政策も検討課題と考える。

令和2年度 歳入歳出決算審査報告



入口 誠 委員長

「令和2年度歳入歳出決算」の認定については、第3回定例会において、議長、監査委員を除く10人で決算特別委員会を設置し、審査を付託されました。

委員会へは、町長、副町長、教育長、会計管理者、総務課長をはじめ、各担当課の課長、副課長、直接業務を担当している職員の出席を求め、慎重なる審査を行いました。

審査日程は、去る10月18日に一般会計のうち、歳出の議会費から消防費までを、10月20日には教育費から歳入、そして9会計ある特別会計と水道事業会計の全てについて、延べ2日間にわたり慎重

なる審査を行いました。

審査は、「款」ごとに行い、委員からの質問に対し、担当する課が説明をする手法で進め、一般会計、特別会計、水道事業会計ともに、熱心な質疑応答がありました。

真摯に対応されました町長、副町長、教育長、会計管理者、担当課長をはじめ、課員の皆様に敬意を表します。審査の中で、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計の3つの特別会計の決算認定に際しては反対の意見もありましたが、採決の結果、賛成多数により認定することに決定いたしました。

審査意見として記述しています9項目については、次年度以降も引き続き努力をし、改

善すべき点は適正に改善され、行政効果を高めるべく、各課において一層研鑽されることをお願いいたします。

本町は、厳しい財政状況が続いています。が、産業の振興、子育て支援、防災対策等、他の自治体に比べ遜色のない行政、予算執行をされています。

今後も新型コロナウイルス対策等、不確実な要素が入ってきますが、引き続き町民のため、適切な予算執行をお願いいたします。

審査意見

1. 本町のふるさと納税返礼品における地場産品の発信力が弱いと思われる。事業者や生産者と協力し、もっと知ってもらえるようにポータルサイト等を活用した取り組みを更に検討されたい。

2. 各支所が管理する

地域公共施設維持修繕費の予算執行において、早急に明確なルール作りを検討されたい。

3. コミュニティバスのデマンド運行における執行部の努力は認めるが、昨年度からの改善が見受けられない。抜本的な解決策を含め再度検討されたい。

4. 本町のホームページの構成やデザイン等について再度検討し、より多くの情報を発信するとともに見やすく分かりやすいように改善されたい。

5. バイオセンター中津は、将来有望な施設である。専門技術職員の雇用や施設設備の改善を含めた運営等に対し、これまで以上の支援を検討されたい。

6. かわべ天文公園の天体望遠鏡がほとんど活用されていない状況である。もっと活用で

きる方策を検討されたい。

7. 河川カメラが未だ不備な状況であるため、住民に対して有効な防災情報を伝えられていない。本町のホームページでライブ配信するなどのシステムを構築されたい。

8. 歴史資料館の入館者が極めて少ない。施設を有効に活用する取り組みを検討されたい。

9. 各種施策や補助制度の住民への周知については、内容を見極め分析した上での方法を検討されたい。



11月8日、みやまドームにおいて「第23回日高郡町議会親善ゲートボール競技大会」が開催されました。

各町議会で2チームを編成し、12チームが参加しました。

他町の議員とスポーツを通じて親睦を深める機会となりました。

日高郡町議会親善ゲートボール競技大会



10月28日に和歌山県自治会館で委員長・副委員長研修会が開催され、議会運営委員会・各常任委員会の委員長、副委員長が参加しました。

講師は、全国町村議会議長会議事調査部の平野誠氏で、「委員会の運営」をテーマに有意義な研修となりました。

委員長・副委員長研修会参加

※次回の議会だより発行は、8月1日の予定です。

委員長	入口 誠
副委員長	山本喜平
委員	山本啓司
委員	龍田安廣
委員	堀 辰雄
委員	堀江才二

4月末で私たちの議員としての任期が終わります。ありがとうございます。(入口 誠)

振り返りますと、新型コロナウイルスに明け暮れた2年間でありました。最初の頃はこれほど長引くとは夢にも思いませんでした。今、オミクロン株という変異株が日本でも急激に広がりをみせています。この広報が皆様に届く頃には収まっていることを願うばかりです。

議会広報は半数の議員が2年間ごとに担当をしますので、同じメンバーでの発行は今回で最後となります。

